



海浜美化フォーラム 2014.2/22

つながる森と川と海～流木について考える



齋藤 直人氏

北海道立総合研究機構林産試験場 技術部長
題目「流木はどんなもの？」



尾崎 真一氏

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課
廃棄物指導グループ主査
「北海道の取り組みの報告」

2月22日、かでの2・7にて40名ほどが参加し、「海浜美化フォーラム」を行いました。

齋藤氏は、林産試験場で循環型社会形成推進科学研究で実施した研究成果の一部を使って、主に流木の発生原因、海岸での流木の漂着実態、リサイクル技術と塩分、リサイクルに向けてのお話をされました。

特に、リサイクルするための処理方法などの研究を発表され、リサイクルの方法として、木質ペレット燃料、牛舎などの敷料、緑化資材、木質歩道などに使うマルチング材、畑などの水はけを良くするために使う暗渠疎水材などがあり、これらの使用方法を広げていくことが重要と話されました。

そして、尾崎氏は、海岸漂着物の発生抑止のための北海道の取り組みについて報告をされました。

パネルディスカッションでは、北海道の流木は川から排出されることが分かったが、森から川に排出される原因について討議された。海岸に漂着している流木の処理について具体的質問があり、北海道の海岸漂着物の90%が流木であることから、森や河川林を保全することが、海的环境保全につながるなど活発な意見が出ました。



川口氏(きたネット)と尾崎氏を交えてパネルディスカッション

活動報告DVDの発表



NPO法人北海道海浜美化を進める会